

まず、8月にマカオを直撃した台風「ハト」による甚大な被害に対し、心からのお見舞いと一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

本日、マカオ政府を代表しての御出席していただいた Acting Chief Executive, Ms Chan Hoi Fan(陳海帆・行政長官代理)に対し篤くお礼申し上げます。また、御参集の皆様全員に感謝申し上げます。

天皇陛下は、今月23日に84歳になられる。皆様と共にお祝いできることは、大きな光栄である。

陛下は、本年も国内外で様々な活動を行われた。2月から3月にかけて、友好親善関係の促進のためにベトナム及びタイを訪問された。10月には、7月に発生した九州北部豪雨被災地お見舞いのため、福岡県及び大分県をご訪問し、また、11月にも鹿児島県を訪問し、おととの噴火の影響で避難生活を続けている口永良部島の島民を見舞われて、一日も早い復興への祈りを新たにされた。

日・マカオ関係は良好な発展を継続しており、これもひとえに、ご来場のマカオ政府関係者、マカオ各界の方々、在マカオの日本の皆様をはじめ、様々な関係者のご尽力の賜であり、心より感謝申し上げます。

日本とマカオとの間の人的往来は、2017年も順調に伸びており、年末までにマカオからは、10万人以上が訪日し、また、日本からも30万人以上がマカオを訪問することが見込まれている。

昨年末、日本において「カジノを含む統合型リゾート施設整備法案(Integrated Resort)」が国会で成立したことを受けて、マカオのリゾート運営に関する先進的な経験や法律を調査するために、国会議員を含む多くの日本側関係者がマカオを訪れた。また、マカオ側からも、日本の投資環境を調査するために企業関係者が訪日した。

本年4月には、長年にわたりマカオ・日本間の交流に寄与された村石邦夫・澳門日本会会長に対し、平成29年春の叙勲において「旭日単光章」が授与された。この場を借りて、村石会長の長年にわたるご貢献にお礼申し上げます。当館としては、引き続き、マカオ政府と協力して日・マカオ間の人的交流促進に努めていく所存である。

本年は、日中関係全体にとっても発展の年であった。7月にドイツG20サミット、11月にはベトナムAPECの機会を活用して安倍総理と習近平国家主席の会談が実現し、また、11月のフィリピンASEAN関連会合の機会にも安倍総理と李克強国务院総理との会談が実施される等、日中関係は着実に発展している。

加えて、今年の日中国交正常化45周年、来年2018年は日中平和友好条約締結40周年でもあり、地域の平和と安定、国際社会の繁栄に大きな責任を有する日中関係の発展は極めて重要で、我々総領事館もあたる限りの努力を行う。

御清聴にお礼申し上げます。あとは、お食事と御歓談をお楽しみいただきたい。

では、Acting Chief Executive, Ms Chan Hoi Fan(陳海帆・行政長官代理)始め、皆様の御来場に感謝するとともにすばらしい新年をお祈りする。そして、天皇陛下の御長寿、日・マカオの友好関係の更なる発展、日中関係の明るい将来を祈願して、乾杯したい。

(広東語で) 我 [口地] 祝大家身体健康幸福快乐。

(日本語で) 皆さまの御健康と御多幸をお祈りいたします。